

定例会情報

令和5年 第3回定例会(9月5日～9月27日)

本定例会は、令和5年度補正予算計上のほか、令和4年度歳入歳出決算などを審査するため、9月5日から9月27日までの23日間の会期で開催しました。なお、上程された条例改正や補正予算などの報告2件、議案18件、認定14件については、すべて原案のとおり承認、可決、認定としました。本会議、委員会審査での質疑応答の主なものは次のとおりです。

● 子育てに関すること

- 議案第80号 飛騨市子ども・子育て会議条例等の一部を改正する条例について

子ども・子育て支援法及び児童福祉施設の設備及び運営に関する基準の改正に伴う改正

- Q 国の縦割り行政を乗り越えて、市としては教育との関係は独自に取り組む必要があるのではないかと
A 先般、子ども家庭庁・文科省・厚労省の関係者が視察に来たが、飛騨市のような小さな自治体の方が垣根なく一体性を持った施策を進めている

● 地籍調査に関すること

- 議案第82号 字地域の変更について(河合町角川XI地区)

- 議案第83号 字地域の変更について(神岡町西VII地区)

地籍調査の結果、字区域の境界線が地形上明確ではない状況が確認されたため、今後の土地管理及び利用を円滑に行えるよう、今回の地籍調査を機に境界を整理するもの

- Q 地籍調査はこの先ずっと続いていくのか
A 適正な課税と森林整備の基でもあり、引き続き調査を推進していく

● 土地改良事業に関すること

- 議案第84号 字地域の変更について(古川町数河地区)

数人共同施行土地改良事業の結果、圃場整備後の土地管理及び利用を円滑に行えるよう、今回、換地処分を機に境界を整理するもの

● 防災に関すること

- 議案第81号 飛騨市火災予防条例の一部を改正する条例について

対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令等の改正に伴う改正

- Q 対象火器設備の設置緩和とあるが、その背景は
A 実態に即した改正で、炭火焼器の離隔距離等の条件を満たしていればよく、設置しやすくなった

● 人事案件に関すること

- 議案第74～79号 人権擁護委員候補者の推薦同意

森本 晴男(古川町) 藤田 計人(河合町) 中田 秀夫(神岡町)

蒲 貞憲(古川町) 服部 宗純(神岡町) 小林 観善(宮川町)

【任命期間】令和6年1月1日から令和8年12月31日までの3年間

- Q 人権擁護委員の推薦基準は
A 新任は満68歳以下、再任は満75歳以下である

● 議決が必要な財産の取得に関すること

予定価格2,000万円以上の財産の買い入れについて審議

- 議案第73号 財産の取得について(救助工作車1台)

- Q 現在のものは購入後、何年経過したのか
A 平成12年11月に購入し23年経過している

● 議決が必要な損害賠償の額に関すること

- 議案第90号 損害賠償の額の決定について

市道川東線(宮川町内)山側法面からの落石による自動車損傷事故における損害賠償額の決定

- Q どれくらいの高さから落石があったのか。その後どのような対策をしたのか

A 高さは不明だが、落ちてきた石は80cm角であり該当市道を全面通行止めとし点検を行った

● 予算に関すること

令和5年度 補正予算

- 議案第85号 令和5年度飛騨市一般会計補正予算(補正第2号)
13億6,804万2千円を増額、補正後の予算額は199億6,053万円
- 議案第86号 令和5年度飛騨市国民健康保険特別会計補正予算(補正第1号)
7,412万円を増額、補正後の予算額は26億9,312万円
- 議案第87号 令和5年度飛騨市介護保険特別会計補正予算(補正第1号)
保険勘定の1億3,737万円を増額、補正後の予算額は34億9,057万円、事業勘定の116万8千円を増額、補正後の予算額は2,116万8千円
- 議案第88号 令和5年度飛騨市給食費特別会計補正予算(補正第1号)
45万円を増額、補正後の予算額は3,545万円
- 議案第89号 令和5年度飛騨市国民健康保険病院事業会計補正予算(補正第1号)
事業収益の3,500万円を増額、補正後の予算額は15億5,227万4千円、事業費用の1,864万4千円を増額、補正後の予算額は17億9,424万6千円

総務部

Q 今年度、AED10台を屋外設置した後、来年度以降も屋外設置を進めていくのか

A 来年度以降、残り40台を逐次、市で保有している施設の屋外に設置を計画している

企画部

Q 保育園留学の検証事業は(株)キッチハイクとの随意契約か

A 随意契約を想定している

振興事務所

Q 宮川町種蔵の板倉の屋根修理は壊れた時に行うのか、計画的に行うのか

A 種蔵の板倉は20棟ある。破損した板倉の所有者からの申し入れにより行う

市民福祉部

Q 古川デイサービスの移転と、ハートピアの改修はいつ頃で事務所として機能する時期は

A 移転先の買収は完了している。移転時期は早くとも令和6年4月を想定、ハートピアの改修は令和7年7月頃完了見込みである

環境水道部

Q クリーンセンターで6名採用し、うち2名が退職された要因は何か

A 用務に就いたところ、本人には難しいところがあり辞められた

農林部

Q 黒内地内最適土地利用総合対策事業の対象となった事由は

A 定額助成であり、1,000万円以内で10/10の補助になるので、来年度を見越して今回計上した

商工観光部

Q 小島城への道に樹木が落ちており滑りやすいが、整備の対応は

A 文化振興課が主体だが担当者が現場を確認した時点及び、ツアー時に状況が分かった時点で情報の共有を図りながら対応していく

病院事務局

Q 6月議会に指定金融機関が病院の窓口から撤退する話はなかった。なぜ今なのか

A 6月議会時点では人はいなくなるが集金はして貰えると思っていた。集金も毎日出来ないことが6月議会以降に分かって、これに対応して入出金機を探したという流れである

定例会の概要

消防本部

Q ヘルメットの更新基準はあるのか

A メーカーは7～10年を推奨しているが、使用頻度、劣化具合により更新する

● 決算の認定に関すること

令和4年度 歳入歳出決算

- 認定第1号 令和4年度飛騨市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第2号 令和4年度飛騨市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第3号 令和4年度飛騨市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第4号 令和4年度飛騨市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第5号 令和4年度飛騨市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第6号 令和4年度飛騨市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第7号 令和4年度飛騨市農村下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第8号 令和4年度飛騨市個別排水処理施設事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第9号 令和4年度飛騨市下水道汚泥処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第10号 令和4年度飛騨市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第11号 令和4年度飛騨市情報施設特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第12号 令和4年度飛騨市給食費特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第13号 令和4年度飛騨市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について
- 認定第14号 令和4年度飛騨市国民健康保険病院事業会計決算の認定について

◆ 討 論 ◆

認定第1号 令和4年度飛騨市一般会計歳入歳出決算の認定について（賛成者多数で可決されました）

反対討論 籠山恵美子 議員

令和4年度決算は12億6千万円の黒字であり、積み立てた財政調整基金（以下、財調）は64億4千万円となった。

財調の定義は「年度間の財源の不均衡を調整するための基金」であり、常識的に標準財政規模の10～20%が適正とされている。飛騨市に当てはめると、21億4千万円ですむのになぜこのように多額に積み上げるのか。市はその根拠を、「大災害が発生した場合の被災者1人当たりの初期対応費用」だと言う。それを「現金で配る」となれば、これは特定目的基金で財調ではありえない。市民本位の財政出動を求め、反対する。

小笠原	水上	谷口	上ヶ吹	井端	澤	住田(議長)	徳島	前川	野村	籠山	高原	葛谷
○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	○

賛成：○ 反対：×

総務部

Q マンホールトイレは今後、衛生管理上の清掃、事業者と連携はどうしているのか

A 連携は取れているので、トイレを使用した場合、洗浄、汚れのひどいものは廃棄し新品にする

会計事務局

Q 市から振込された時に、個別内訳がないため何の振込か分からないがその対応は

A 以前は全て内訳はがきを送っていたが希望者には送っている。振込手数料がそれぞれかかるため、まとめているが、常に必要な方には発行するよう考える

企画部

Q 魅力ある地元高校事業は市がリードしているのか

A それぞれの高校側からの発案により事業を展開している

振興事務所

Q 各振興事務所の業務の負担感は

A システム化は進んでいるが、マンパワー不足は否めない感がある

環境水道部

Q ゴミ出しアプリは外国人技能実習生等に周知しているのか

A 外国人技能実習生へは受け入れ事業者や市が主催する交流会の場で、転入者へは転入届出時に説明している

基盤整備部

Q 未舗装林道の不良個所の対応は

A パトロール等において対応している

農 林 部

Q 飛騨市広葉樹活用コンソーシアムの効果は

A 需要は伸びている。新しい製材所(300m³/年)が稼働しているし、将来的に1,000m³/年まで伸ばしたい

市民福祉部

Q 新型コロナウイルス感染症が5類に引き下がった。今7回目の接種券が届いたが年度末までに8回目はあるのか、また無料なのか

A 7回目最後の接種期間で年度末まで無料である。次年度は確定していないが年に1回の接種で有料になる予定である

商工観光部

Q 定住就職者奨励金や市民雇用奨励金交付時期を1年から3年に変更になっているがその要因は

A 令和3年までは就職1年で支払いをしていたが、1年では定住ではなく1年経った頃に仕事を辞めたということもあるので変更した

教育委員会事務局

Q タブレット導入に伴い、電子教科書の導入をどのように考えているのか

A 英語については国の政策で一部導入、算数・国語については実証的に導入している学校もある。しかし、デジタルが合う子もいれば、紙の教科書の方がよい生徒もおり、今後検討していきたい

病院事務局

Q キャッシュフローの件で資金期末残高が増えているが、その理由はなにか

A 企業債の借入で一昨年は電子カルテの購入、昨年はMRIの購入で増加になっている

消 防 本 部

Q シフトで女性消防職員が2名になることもあるが対応できるのか

A 仮眠室に簡易ベッドで2名まで対応できるように考えていく

● 報告に関すること

● 報告第5号 損害賠償の額の決定について

【専決第6号】市有地内の倒木による墓石損傷事故における損害賠償額の決定

【専決第7号】市道グレーチングによる自転車損傷事故における損害賠償額の決定

【専決第8号】割石温泉における草刈り作業中の飛び石による自動車窓ガラス損傷事故における損害賠償額の決定

Q 倒木の時期は不明ということだが、処理時間がかかっているのは積雪の影響か

A 所有者の特定や示談までの交渉に時間を要した

● 報告第6号 株式会社飛騨ゆいの経営状況報告について

令和4年度事業報告及び決算に関する報告と令和5年度事業計画及び予算に関する報告

Q 人手不足の対応は

A パート職員の多用や経験者の雇用に努めている